



名古屋鉄道<9048>、子会社の名鉄運輸<9077>をTOBで株式非公開化



名古屋鉄道は2月7日、連結子会社（所有割合51.09%）で運送会社の名鉄運輸にTOB（株式公開買い付け）を実施し、名証2部の上場を廃止すると発表した。名鉄運輸は本TOBに賛同の意見を表明し、株主に応募を推奨している。

日本通運はTOBに応募せず、20.08%の所有割合を維持する。株主を名古屋鉄道と日本通運の2社に限定し、非公開化でグループのシナジー（相乗）効果や人材の有効利用、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを狙う。

買付価格は1株当たり3500円で、公表前営業日の終値2300円に対して52.17%のプレミアムをつけた。買付予定数は186万8441株。上下限は設けない。買付代金は約65億3900万円。買付期間は2月8日から3月24日までの30営業日。公開買付代理人は大和証券。決済開始日は3月31日。